

市民活動に関する市民意識調査（概要版）

1 調査の概要

◎調査の目的

姫路市が「まちづくりと自治の条例」を基本とし、全員参加のまちづくりを進める中で、前回調査実施時（平成16年度）からの、市民活動に関する市民意識の変化を把握するとともに、今後の市民参加のあり方を検討し、新しい「市民活動・協働推進事業計画」策定の参考とするために実施しました。

◎調査対象者

姫路市にお住まいの20歳以上の市民の中から、3,000人を無作為抽出しました。

◎調査方法

調査票の配布・回収ともに郵送法としました。

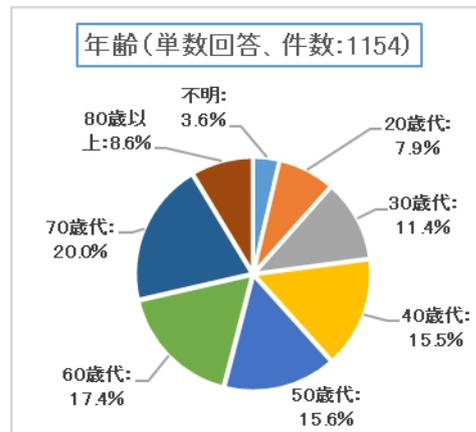
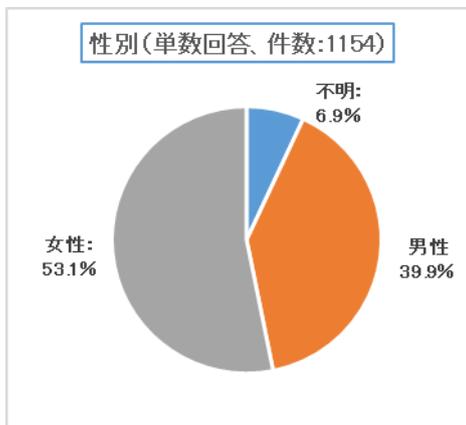
◎調査の期間

令和2年5月13日（水）～29日（金）

◎回収の状況

配布数：3,000票 有効配布数：2,990票 有効回収数：1,154票 回収率：38.6%

◎回答者の概要



上段：人数(人) 下段割合(%)

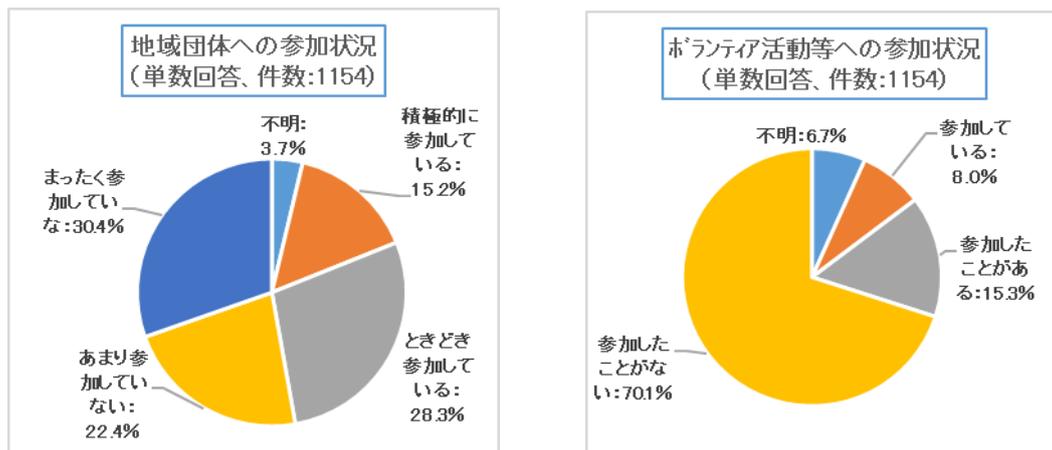
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
男性	38 8.2	49 10.6	70 15.2	83 18.0	83 18.0	102 22.1	35 7.6	1 0.2	461 100.0
女性	53 8.6	82 13.4	109 17.8	95 15.5	116 18.9	116 18.9	41 6.7	1 0.2	613 100.0
不明				2 2.5	2 2.5	13 16.3	23 28.8	40 50.0	80 100.0
合計	91 7.9	131 11.4	179 15.5	180 15.6	201 17.4	231 20.0	99 8.6	42 3.6	1,154 100.0

2 地域団体、ボランティア団体・NPOの現状

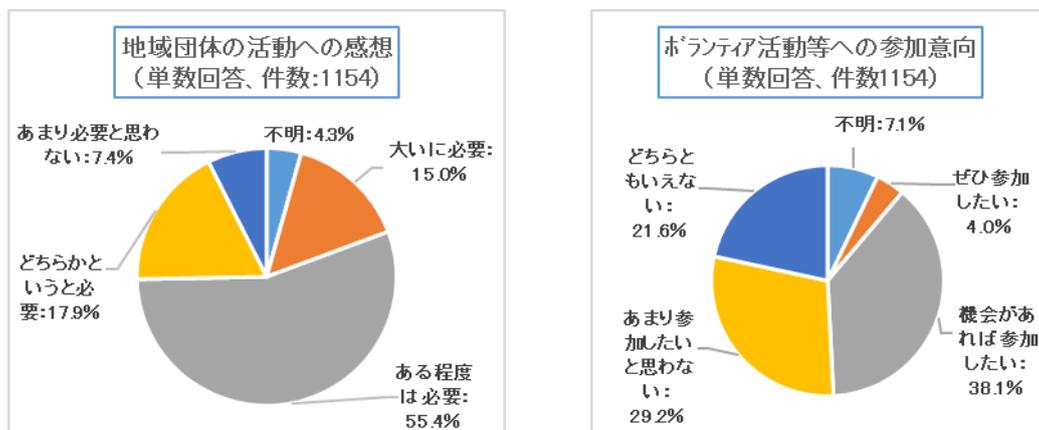
地域団体の活動には、回答者の4割強の人が参加し、地域団体の活動が必要と考える回答者も約8割にのぼり、また約4割の回答者がボランティア団体・NPO活動への参加を希望している一方で、ボランティア団体・NPOに関しては、7割の人が参加したことがないと回答しています。

活動参加状況は、地域団体では「お祭りなどの地域行事」や「環境美化など」、「防犯防災など」が、ボランティア団体・NPOでは「環境美化など」や「お祭りなどの地域行事」、「高齢者福祉など」が多くなっています。

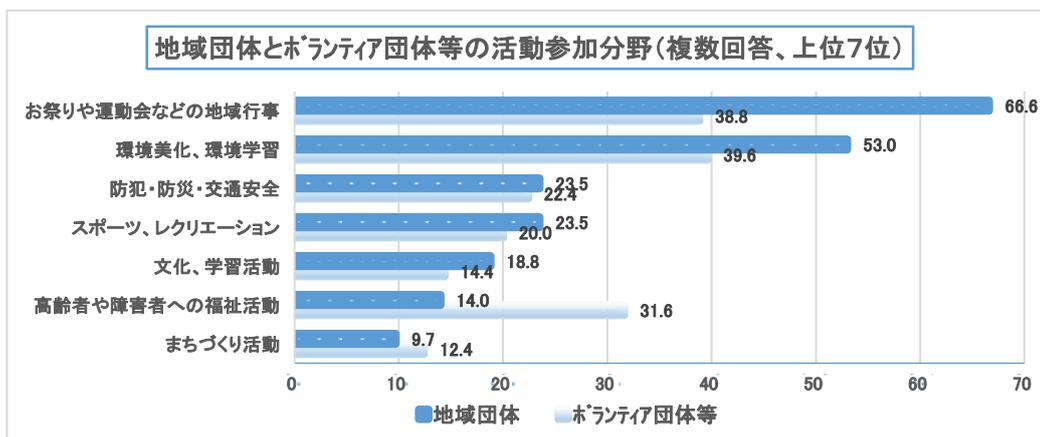
◎参加状況



◎団体への意識



◎団体活動の参加分野



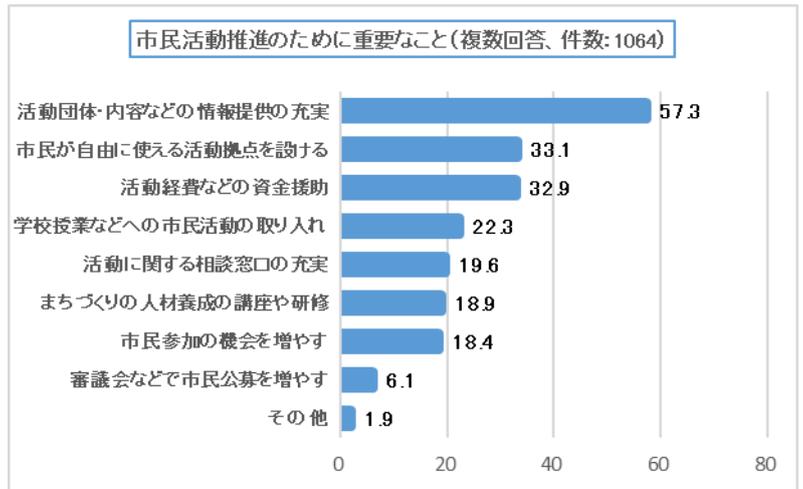
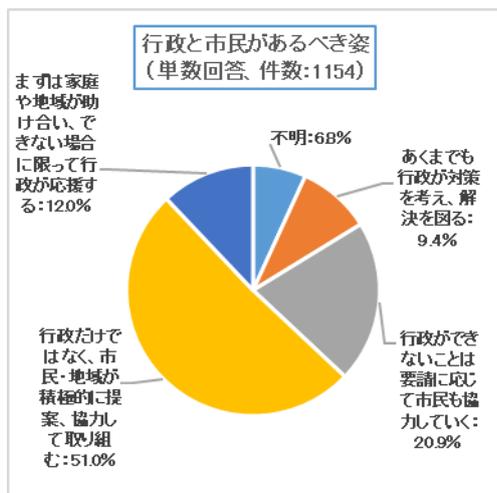
◎団体活動に参加しない理由

地域団体、ボランティア団体・NPOともに、参加しない理由は「仕事・家事・育児・介護などで忙しい」が第1位となっています。その他では「興味・関心がない」や「参加する方法がわからない・情報がない」などが上位にきています。

3 市民活動の今後のあり方

地域の問題解決に向けた行政と市民のあり方として、「行政だけではなく、市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む」が最も多く、回答者の5割超は協働の意識があります。

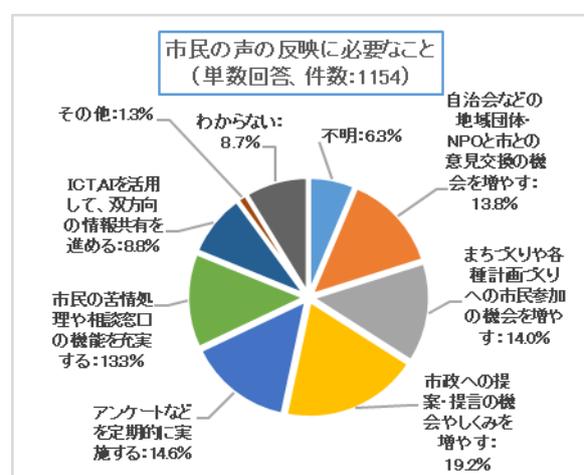
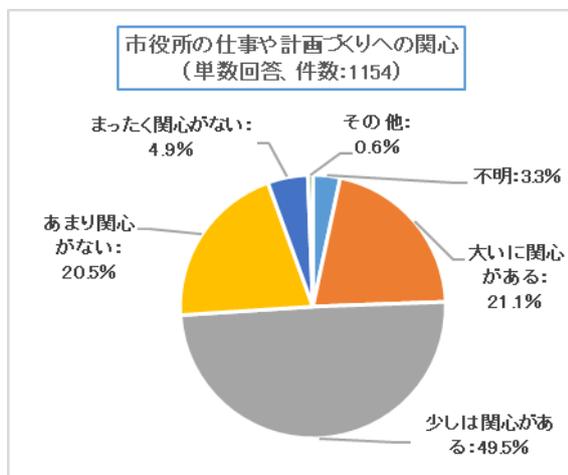
また、市民活動推進のために必要なことでは、「活動団体や活動内容などの情報提供の充実」が突出して多くなっています。



4 市民の声の市政への反映

回答者の約7割が市役所の仕事や計画づくりに対して関心を持っています。特に前回調査では関心がさほど高くなかった20歳代の関心が高くなっています。

また、「自治会などの地域団体・NPOと市との意見交換の機会を増やす」や「まちづくりや各種計画づくりへの市民参加の機会を増やす」、「市政への提案・提言の機会やしくみを増やす」など直接参加が必要と考える回答が約半数ありました。



5 市民活動に関わる市の取組みについて

市政情報の入手方法では、「広報ひめじ」が最も多く、前回調査でさほど多くなかった「市のホームページ」も割合が上がっています。

市政について知りたいことでは、「新しくできた制度や手続きの紹介」、「自分が住む地域のまちづくり計画」が多いです。

市民参加制度への認知度では、「姫路市公式アプリ「ひめじプラス」」や「情報公開制度」などで高くなっています。

